



釧路湿原森林ふれあい推進センターでは、森林ふれあいの取り組みについて、関係行政機関や関係団体等と連携して行っていますので、その一部を紹介します

### 木育・森づくりフェア

この催しは、木育の取り組みを通して、協働の森づくりへの関心を高めるため、地域住民の方々に「木とふれあう機会を提供」し、「森林づくりの重要性」や「木の良さ」等への理解を深めていた



ミニツリーづくりの様子

だくことを目的として、国有林、釧路総合振興局

森林室や市町村、関係団体等が連携して昨年の10月19日・20日に開催されました。

会場には、釧路管内の木育・植樹活動を紹介する「パネル・木製品展示コーナー」、木の玉のプールの等で遊べる「木とのふれあいコーナー」、カラマツを使った箱椅子づくりができる「木育広場」、木の葉や輪切り、枝等で木工クラフトが作成できる「木工工作体験コーナー」等、様々なブースが設けられました。

当センターは、根釧西部森林管理署と連携して、マツボックリや枝、木の輪切り等の森林の恵みを材料とした「ミニツリーづくり」を企画しました。国有林ブースには、親子連れが早々に訪れ、ミニツリーの見本を参考に材料を選び、木工クラフトづくりを楽しむ姿が見られ、用意した席がなかなか空かない状況で、会

場は大いに賑わいました。

### くしろ木づなフェスティバル



屋外会場

「お山ん画」の展示や「チエンソーマン」への変身コーナーを企画しました。国有林ブースには、開場直後から次々と親子連れが訪れ、見本でこれから作る作品のイメージを膨らませて材料を選び、「ミニツリー」を作っていました。

今回の森林ふれあいの取り組みも、親子で一緒にクラフトを作る姿が多く見られ、作品が完成した時には皆が笑顔になりました。嬉しそうに作品を持ち帰っていました。

会場に訪れた方々はそれぞれのブースで、木のふれあいを楽しんでいました。



お山ん画を説明中